

平成21年度

定額の資金を運用するための
基金の運用状況審査意見書

嬉野市監査委員

定額の資金を運用するための基金の運用状況審査意見書

第1 審査の対象

定額の資金を運用するための基金の運用状況調書

第2 審査の期間

平成22年 7月26日から 8月20日まで

第3 審査の手続

審査に付された定額の資金を運用するための基金の運用状況について審査した。

別表の3つの基金について、設置目的に沿って適正に運用されたか、計数は正確であるかなどについて、関係諸帳簿を照合して審査を実施した。

第4 審査の結果

平成21年度定額の資金を運用するための基金の運用状況調書、現金の当年度末現在高及び指定金融機関の預金残高を符合した結果、その計数については、適正であり、全ての基金について目的に沿って運用されていることを認めた。

別表 定額の資金を運用するための基金の運用状況 (単位：円)

基金名	区分	前年度末現在高	決算期中の増減高		決算年度末現在高
			増	減	
肉用繁殖牛 導入事業基金	肉牛	(29頭) 18,522,215	(5頭) 3,180,614	(2頭) 1,036,395	(32頭) 20,666,434
	現金	9,084,518	651,263	3,180,614	6,555,167
	計	27,606,733	3,831,877	4,217,009	27,221,601
土地開発基金	土地	0	0	0	0
	現金	381,332,194	627,474	0	381,959,668
	計	381,332,194	627,474	0	381,959,668
高額療養費 資金貸付基金	貸付金	21,000	3,893,000	3,761,000	153,000
	現金	7,479,000	3,761,000	3,893,000	7,347,000
	計	7,500,000	7,654,000	7,654,000	7,500,000

(1) 嬉野市肉用繁殖牛導入事業基金

当年度の基金の運用について、前年度決算年度末より肉牛が3頭の増加により、決算年度末現在高は32頭で27,221,601円である。

肉牛の決算期中の増減については、5頭の導入に対し2頭の償還完了により2,144,219円の増である。

現金は、2頭分の償還金収入が651,263円で、決算年度末現在高は6,555,167円となった。

なお、当年度において、肉牛の死亡事件があり償還金収入に影響がでているが、適正に処理されていた。

(2) 嬉野市土地開発基金

当年度の基金の現金については、預金利子の収入で627,474円増加し、決算年度末現在高は、381,959,668円である。

土地については、異動はない。

(3) 嬉野市高額療養費資金貸付基金

当年度の基金の運用は、貸付が29件、3,893,000円で、返済が過年度分を含め28件、3,761,000円となっており、22年度への貸付繰越は2件、153,000円で、決算年度末における現金の差引残高は7,500,000円である。